



reviziita

3月31日 第1次締切り 4月1日から参加費改定

**La 104a Japana Esperanto-Kongreso**  
**Jokohamo, Kanagavo**  
**la 3a-5a de novembro 2017**

# 第104回日本エスペラント大会

(神奈川県横浜市)

日時：2017年11月3日（金・文化の日），4日（土），5日（日）

会場：かながわ労働プラザ（JR 石川町駅より徒歩3分）

主催：一般財団法人日本エスペラント協会，NPO法人エスペラントよこはま

協力：神奈川エスペラント連盟

## Kongresa temo: Haveno peras, Esperanto peras

### 大会テーマ：港はつなぐ，エスペラントはつなぐ

1859年に横浜港が開港してから160年近くが経過しました。

この間、横浜は港町として外国から旅人や物、文化を数多く受け入れ、そして日本からも多くの人々が旅立っていきました。旅客の国際的な移動手段が船から飛行機に移った現在も、赤レンガ倉庫・大栈橋・氷川丸などは、往時の雰囲気を求める観光客で賑わっています。

横浜には開港当時から数多くの外国人が移住・居留し、市民と共存し、文化の交流を続けてきました。中華街には多くの中国人が長年にわたって居住し、日中関係が難しい局面にある現在でも、異国情緒と、おいしい中華料理を求める人々を引きつけています。

このような平和的な国際交流に港が果たした役割について考えると、港はあくまでも媒介役に徹してきたということに気がきます。港は、外洋の風と波を避ける場所を船に提供し、貨客を積み下ろし、船員に休息の場を提供する…その役割はまさに“haveno peras”（港はつなぐ）です。

エスペラントにもまた、港と共通した要素があることに気がきます。自然言語による国際交流には、一方の言語・文化が他方を圧倒するという要素が付きまといますが、エスペラントはあくまでも中立的な媒介役として文化の相互理解を担い、“Esperanto peras”（エスペラントはつなぐ）に徹し続けています。

エスペラントに「独自の文化が無い」という批判をよく聞きますが、横浜港が peranto（つなぎ役）として横浜の文化を160年近くにわたって育んできたように、エスペラントも130年近く、perantoとして、平和的な国際交流の文化を育んできました。この横浜の街で、港町の空気に触れながら、エスペラントの文化・エスペラントの役割について今一度考えを巡らせてみる機会として、日本エスペラント大会を横浜の地に招きます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

Bonvenon al la havenurbo Jokohamo!

## 主なプログラム (計画中)

- 11月3日 (金・祝) 13:00～受付, 14:00～講演会・分科会等, 18:00～親睦の夕べ  
11月4日 (土) 09:15～開会式, 10:45～講演会, 分科会など, 18:30～懇親会  
11月5日 (日) 09:15～講演会, 分科会など, 14:00～閉会式, 15:00～大会後観光

主なプログラムとして、大会テーマ「港はつなぐ」「エスペラントはつなぐ」に沿った交流、とりわけ文化の交流を主軸とした講演などを検討しています。

## 記念品 (予定)

### ①“Gvidlibro pri Jokohamo kaj ĝia ĉirkaŭo”

(仮題) 横浜とその周辺地域の案内書。観光、歴史、現代のことなどさまざまなことを含めた案内書を目ざしています。

②『神奈川とエスペラント — 神奈川県エスペラント運動史』編集中：土居智江子。神奈川は日本のエスペラント運動の発祥の地でもあります。エスペラントが日本に導入された直後から神奈川ではエスペラント運動は元気にあふれた時期、沈滞の時期もありました。この大会を機に神奈川のエスペラント運動をまとめています。

## Memoraĵoj (laŭ plano)

1. *Gvidlibro pri Jokohamo kaj ĝia ĉirkaŭo*  
(provizora titolo) Ne nur pri turismaj lokoj kaj aferoj, sed ankaŭ pri historiaj aferoj kaj priskribo pri la vivo.
2. *Kanagavo kaj Esperanto — Historio de Esperanto-movado en la gubernio Kanagavo*: en la japana lingvo; redaktata kaj kompilata nun de DOI Ĉieko



**連絡先**：日本エスペラント大会事務局 財団法人日本エスペラント協会内  
〒162-0042 東京都新宿区早稲田町12-3 <jek2017@jei.or.jp> (第104回大会専用)  
電話: 03-3203-4581, FAX: 03-3203-4582  
お問合せはなるべくメールでお願いします。

**ホームページ**： <http://www.jei.or.jp/>

**参加申込み**は郵便振替 00130-4-744162 (日本エスペラント大会A) へ。振替 到着後 2週間をめどに受領書 (はがき) をお送りします。

## 大会参加費など

(単位は円)

	参加費 期限→	3月末	7月末	8月～	備考 (○印 記念品・報告書あり)
①	一般	5 000	6 000	7 000	○
②	障害者	3 000			○
③	家族	2 000	3 000	4 000	記念品希望者は①でお申し込みください
④	青年・留学生	2 000	3 000		○(青年は2017年内に30歳になる人迄。生年月日を記入！)(留学生は日本に留学中の外国籍の人)
⑤	青年・留学生	2 000 (記念品なし)			
⑥	中学・高校生	1 000	1 500		単独参加者のばあいは○
⑦	小学生以下	無料			
⑧	外国から	2 000			○ 高校生以下は⑥, ⑦でお申し込みください
⑨	不在参加	3 000			○ 実参加への切替の際は申込日の額との差額を追加で
⑩	記念写真	1 000			最終日にお渡しします。各自お持ち帰りください
⑪	昼食I (4日)	1 000			
⑫	昼食II (5日)	1 000			
⑬	懇親会 (4日)	7 000			
⑭	大会後観光	計画中			1泊を予定
⑮	JEI学力検定試験	1級: 5 000/ 2級: 3 000/ 3級: 2 000/ 4級: 1 000			

◆取り消し条件 ①～⑨, ⑮の参加費は原則としてお返しできません。

⑩～⑭の費用は10月10日までに限り、返金手数料500円を控除して返金します。

・参加申込は [郵便振替 00130-4-744162 日本エスペラント大会A] へ

・なお、宿泊ホテルの斡旋はしません。大会情報第2報でいくつかのホテルを紹介しますので、ご自分でお申し込みください。

**Kotizoj:** loĝantoj en Japanio (inkl. eksterlandanojn)

5 000 enoj (ĝis la 31a de marto 2017)

6 000 enoj (ĝis la 31a de julio 2017)

7 000 enoj (de la unua de aŭgusto 2017)

el aliaj landoj: 2 000 enoj

Pri ceteraj kotizoj (handikapuloj, junuloj, lernantoj, moralaj partoprenoj ktp)

demandu Japanan Esperanto-Instituton

**Hoteloj:** mendu persone (en “La Dua Informilo” ni prezentu kelkajn hotelojn)

**Bankedo:** 7 000 enoj

**Foto:** 1 000 enoj

**Lunĉoj:** en la 4a kaj 5a de novembro, 1000 enoj potage

**Turismo:** nun planata (poste ni informos vin!)

# La 104a Japana Esperanto-Kongreso, en la urbo Jokohamo

**Dato:** la 3a, 4a, 5a de novembro 2017

**Kongresejo:** Halo *Kanagawa Roodoo Plaza*

## Ĉefaj programeroj

### la 3a de novembro (vendredo, ferio)

13:00~ akcepto, fakaj kunsidoj

18:00~ Amika Vespero (prezentantoj atendataj)

### la 4a de novembro (sabato)

09:15~ malfermo, fakaj kunsidoj, prelegoj (Esperante, japane)

13:00~ fakaj kunsidoj, prelegoj (Esperante, japane)

18:30~ bankedo

### La 5a de novembro (dimanĉo)

09:15~ fakaj kunsidoj, prelegoj (Esperante, japane),

14:00~ fermo

15:00~ postkongresa ekskurso

## Kongresa Temo: “Haveno peras, Esperanto peras”

Ĉi tiu kongreso okazos en Jokohamo, granda havenurbo en la suda parto de la regiono Kantoo, meze de Japanio.

Antaŭ pli ol 150 jaroj la haveno malfermiĝis al eksteraj landoj. Post tio, Jokohamo jam longe kreskis kiel internacia havenurbo. La haveno ne nur helpas internacian komercadon sed ankaŭ peras interkonatiĝon inter homoj de diversaj landoj.

Ni vidas komunan aferon inter haveno kaj Esperanto. Ili ambaŭ helpas internacian komunikadon kiel neŭtrala "peranto". Pro tio ni decidis, ke kongresa temo estu "Haveno peras, Esperanto peras", por ke multaj esperantistoj havu ŝancon denove pensi pri Esperanto en la venonta kongreso.

Bonvenon al la havenurbo Jokohamo!



Pri pli detalaj informoj havu kontakton kun Konstanta Kongresa Komitato,  
ĉe Japana Esperanto-Instituto/ JP-162-0042 Tôkyô-to Sinzyuku-ku Waseda-mati 12-3  
telefono.: +81-3-3203-4581, fakso: +81-3-3203-4582, retadreso: jek2017@jei.or.jp  
<http://www.jei.or.jp/>

loka informejo: NPO Esperanto Jokohama

[info@esperanto.yokohama](mailto:info@esperanto.yokohama)